

阿蘇の文化的景観 産山村の農村景観

No.43-07

所在地：熊本県産山村
面積：366.5 ha

選定年月日：平成29年10月13日、令和5年3月20日追加
選定基準：二(一)(二)(三))

(1) 概要

産山村は、阿蘇山とその北東に位置する九重山の火山帯が複合する地域に位置します。九重山麓では、かつて九州が中国大陆と陸続きであったことを示すヒゴタイ、野焼きによって守られてきたキスミレ等の希少植物を確認することができ、貴重な自然環境及び生態系が育まれています。

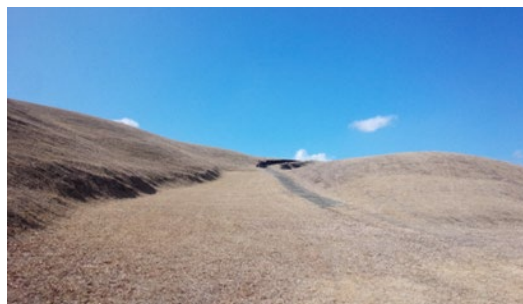
山麓の山吹水源から流れる産山川と池山(いけやま)水源から流れる山鹿川(やまががわ)が小さな谷を作りながら南東方向に流れますが、その2つの谷あいを中心に産山村が広がり、2つの川は大野川となって別府湾に注ぎます。

山吹水源の下流にも傾斜地が多いため、江戸時代に棚田が開かれ、水路及び石橋群が築造されました。扇棚田は、山吹水源から南方に約1.3km導水した標高820mの位置に開墾された約3haの棚田であり、現在も16枚の水田が維持されています。

昭和40年代には阿蘇の広大な草地を対象とした大規模草地改良事業と広域農業開発事業により、草地酪農及び肉用牛の低コスト生産のための飼料基盤整備が行われます。

現在、阿蘇の草地で放牧されるあか牛は役牛として育成されてきたものを品種改良した種であり、その生産は産山村の代表的な産業となっています。

産山村の農村景観は、阿蘇の文化的景観を構成する要素として重要です。



草原

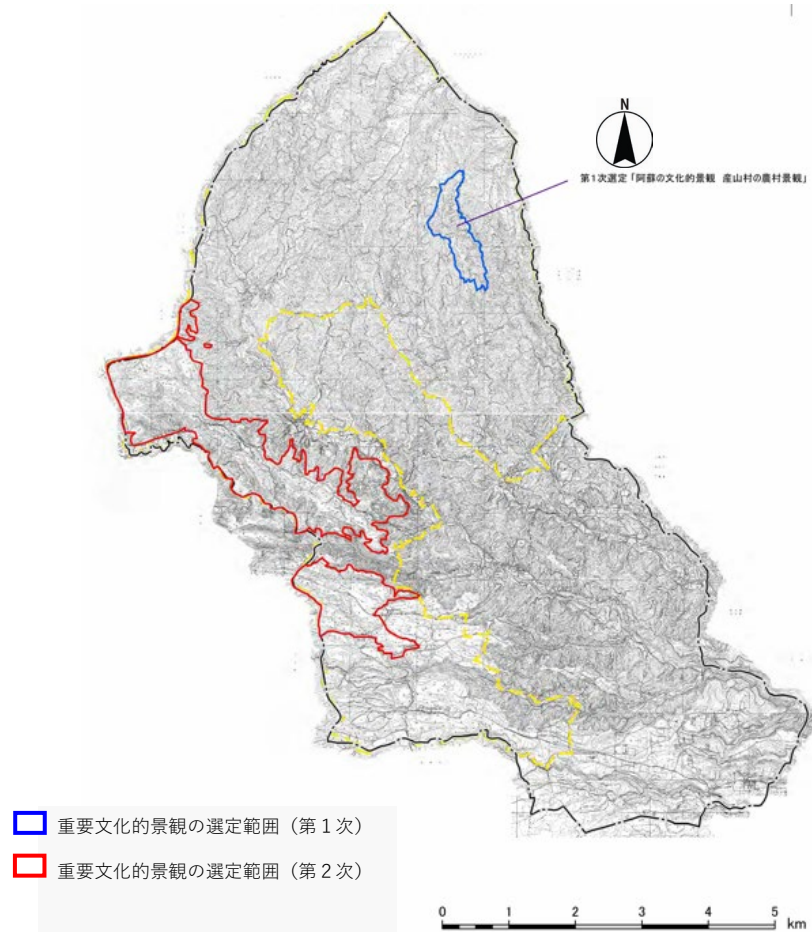


山吹水源



田植え時の扇棚田

（２）選定範囲



- 重要な構成要素：8件

（３）選定による効果

阿蘇の文化的景観の本質的価値の根底には、その地形・地質学的特徴から生じた湧水や、それにより支えられる原生林、草原などの豊かで独特な自然環境があります。産山村においても、選定により、こうした湧水や生態系などのカルデラ火山を取り巻く自然環境、カルデラ火山との共生から生まれた文化や信仰、広大なスケールでの土地利用を実感できる眺望の保全などを目指していくという、地域住民の機運を高めています。また、このような地域の特徴を維持していくのみならず、その地域や風土に即した持続的な発展を目指すという機運の醸成にも寄与しています。



草原に咲くヒゴタイ



あか牛のいる風景

（４）保存活用計画などの基礎情報

- 阿蘇の文化的景観 産山村の農村景観 保存活用計画（令和4年8月、産山村）
- 産山村景観計画（平成26年10月、産山村）

(5) 活用事例

阿蘇の文化的景観	阿蘇北外輪山及び中央火口丘群の草原景観	(熊本県阿蘇市)	No.43-04
阿蘇の文化的景観	南小国町西部の草原及び森林景観	(熊本県南小国町)	No.43-05
阿蘇の文化的景観	湧蓋山麓の草原景観	(熊本県小国町)	No.43-06
阿蘇の文化的景観	産山村の農村景観	(熊本県産山村)	No.43-07
阿蘇の文化的景観	根子岳南麓の草原景観	(熊本県高森町)	No.43-08
阿蘇の文化的景観	阿蘇山南西部の草原及び森林景観	(熊本県南阿蘇村)	No.43-09
阿蘇の文化的景観	阿蘇外輪山西部の草原景観	(熊本県西原村)	No.43-10

事例43-04~10 ①

広大な草原の維持のため行動する人づくり「阿蘇グリーンストック」

●住民や団体等による取り組み

阿蘇の草原は、太古から野焼き・採草・放牧と人々の営みによって維持されてきました。しかし近年、高齢化や担い手不足により、草原の維持が困難となってきました。

公益財団法人阿蘇グリーンストックでは、阿蘇の豊かな緑を後世へ引き継ぐことを基本理念として様々な取り組みを行っています。美しい阿蘇の草原を後世に残すための「野焼き支援ボランティア」は、講義と実技を交えた初心者研修会を行った上で、野焼き前の防火帯作りである輪地(わち)切り・輪地焼きや野焼きなどへ派遣し、地元の方々と連携し草原保全に取り組んでいます。

また多くの方々へ阿蘇の草原の美しさや価値を伝え、一緒に守りたいという思いを増すためにパネル展やシンポジウムなど普及・啓発活動にも力を入れています。

ほかにも阿蘇の草原を身近に感じてもらうと県内外の学生に向けた環境学習やファームステイなど体験プログラムも実施しています。

今後多くの方に阿蘇の草原について伝え、一緒に考え行動できる取り組みを推進していきます。



あか牛を食べながら阿蘇の草原を考える



輪地切りの様子



野焼きの様子



講演の様子

団体等情報：公益財団法人阿蘇グリーンストック <https://www.asogreenstock.com/>

① 地域内での
魅力の共有

② 目標性化の
共有

③ 広域外への
広報

④ 魅力を引き
出す開発

⑤ 財源の
確保と運用

⑥ 人づくり・
人づくり

（５）活用事例

事例43-07 ②

観光客に人気の展望スポットとアクセス路・駐車場の整備

●行政による取り組み

産山村の農村景観における重要な構成要素の一つとなっている「扇棚田」には、きれいな扇型の棚田が等高線に沿って縦に並ぶその景観を写真に収めようと、毎年多くの観光客が訪れます。

しかし、扇棚田の全景を収めることができる展望所に行くためには、勾配のある斜面を登らなければならない、歩道も整備されていない状態であったため、観光客の負担や転倒による怪我などが懸念されていました。

そこで、村では景観になじむよう配慮をしつつ、階段の整備を行いました。

加えて、展望所付近の駐車場も新たに整備したことで、以前よりも観光客が安心して景観の撮影・眺望を楽しむことができました。



展望所からの眺望景観（扇棚田）



展望所駐車場の整備



展望所までの階段を整備

① 地域内での魅力の共有

② 活性化の目標の共有

③ 地域外への広報

④ 魅力を引き出す

⑤ 財源の確保と運用

⑥ 人づくり・人育